

## 第9期第3回武蔵野市情報公開委員会 会議要録

- 日 時 平成26年10月9日(木) 午後6時～7時30分
- 場 所 武蔵野プレイス フォーラム
- 出席者 委 員 6名  
事務局 2名、歴史資料館開設準備担当課長

### 1. 議事

- (1) 第2回委員会会議要録について
- (2) 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館について
- (3) 平成26年度の開示等状況について
- (4) CIMコラムのテーマについて
- (5) その他

### 2. 議事における会議要録

- (1) 第2回委員会会議要録について
  - (委員長) 会議要録については、事務局から事前に送付していますが、変更や修正箇所がありますか。  
[数か所、字句等の修正を行った。]
  - (委員長) それでは、第2回委員会会議要録は確定とします。
- (2) 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館について
  - (委員長) 議事の2「武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館について」報告をお願いします。
  - (歴史資料館開設準備担当) [武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館について、歴史資料館開設準備担当から報告を行った]。
  - (委員長) ふるさと歴史館と情報公開委員会との関係ですが、ふるさと歴史館は、公文書館として公文書を公開する等情報公開の機能があるということで、今回、説明してもらいました。この件に関して、意見・質問等はいかがでしょう。
  - (委員) 歴史資料館については、新たな箱物はどうかと言われていた中で、旧西部図書館を利用し、公文書館機能を加えてスタートするというのは、素晴らしいと思いました。
  - (委員) どのようなものが、公文書として保存されるのですか。
  - (歴史資料館開設準備担当) 基本的には、永年保存文書として、市が保管していた資料を保存することになります。基準としては、昭和22年以前のものは原則として保存し、そ

れ以降のものは、市政を特徴づける資料や、特徴的な事業の基礎となる資料等を集める方向で準備をしています。

(委員) 訴訟関係の資料も入るのでしょうか。

(歴史資料館開設準備担当) 入ります。公文書館で保存している資料等は原則として公開だと思えますが、訴訟関係の資料は時の経過によって公開出来る、出来ない部分も若干ありますので、場合によっては一点一点公開出来るか、出来ないかという判断をしなければならないと思っています。

(委員) 周辺自治体とのコラボレーションのようなものは考えているのですか。

(歴史資料館開設準備担当) 博物館的な施設は、ほとんどの周辺自治体にある状況なので、他市が持っている資源との連携を図っていきたいと考えています。ハード面での連携は難しいので、共同して研究するようなソフト面での連携を進めたいと思っています。

(委員) 資料の公開は、どのような方法で行うのですか。

(歴史資料館開設準備担当) 歴史館で収集した資料をどのように公開していくかですが、文化財ならば、文化財の保護条例により手続を踏んで公開することになります。それ以外の資料で歴史館が保有するものについては、例えば武蔵野プレイスでアーカイブの公開を行っていますが、今後は、歴史館が中心になりプレイスと共に公開していくような道筋を立てなければならないとは考えています。

(委員) 公開の方法として、現物を公開することも重要ですが、映像やデジタル化して見られるようにすると利用価値が高まると思います。これは費用がかかることなのですが、検討してもらえると良いと思います。

(委員) 子供たちへの教育は良いことなので、歴史が身近になるように情報を提示出来ると良いのではないかと思います。

(委員) 資料は、PDF化しているのですか。

(歴史資料館開設準備担当) していません。ほとんどの資料は電子化されていない状況です。資料は永久に保存すると説明したのですが、公開により資料が傷みますので、原本同一性を保ちつつ二次資料を公開するということが課題として取り組まなければいけないと思います。歴史館で保有している資料は、市民共有の財産として伝えていかなければならないと考えています。

(委員) 開館は12月中旬ですか。

(歴史資料館開設準備担当) 正式な決定ではありませんが、12月14日に開館を予定しています。

(委員長) それでは、ふるさと歴史館については、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

### (3) 平成26年度の開示等状況について

(委員長) 議事の3「平成26年度の開示等状況について」事務局から報告をお願いします。

(事務局) [行政文書の開示請求については、平成26年度4月～8月は61件で、25年度同時期の23件と比較すると増加した。行政文書の開示決定について期間延長をしたものは1件であった。自己情報の開示等請求については、平成26

年度4月～8月は11件で、25年度同時期の19件と比較すると減少した。自己情報の開示等請求について期間を延長したものは1件であった。以上について事務局から報告を行った。]

(委員長) 事務局からの報告について、質問等ありますか。  
行政文書の開示については、昨年と比較して、件数、請求者数が少々多いようですが、この程度の増減は普通のことなのでしょうか。

(事務局) 保険証券の開示請求は、通常、一回の請求で10件程度の決定ですが、今回、一回の請求で決定が20件程度になったものがありました。一回の請求で決定した件数が割合多かったので件数が増えたという点と、また、例年よりは開示請求が多かったという印象があります。

(委員長) 平成26年度の開示等状況については、よろしいでしょうか。

#### (4) CIMコラムのテーマについて

(委員長) 議事の4「CIMコラムのテーマについて」事務局から説明をお願いします。

(事務局) [事務局から、12月15日号～3月15日号のCIMコラムテーマ案として、①産業振興計画・観光推進事業、②武蔵野ふるさと歴史館、③太陽光発電システム設置事業、④第五期長期計画調整計画の4テーマを挙げた。]

(委員長) それでは、最低4テーマは決めるということと、また予備として、プラスして2テーマ程度を決めておければ良いと思います。事務局案のテーマの中では、太陽光発電については、前回の委員会で採用となり先送りとなっているテーマですので、ほぼ確定でいかがでしょうか。事務局が候補として挙げたテーマ、また、それ以外で資料にある検討テーマ、新規のテーマも含めて、検討したいと思いますがいかがでしょうか。

(委員) 高齢者総合センターの社会活動センターで、色々な講座を行っていますが、講座を受けた人たちが社会に貢献して欲しい、そういった活動につなげて欲しいという切り口ではいかがでしょうか。

(事務局) 生涯学習には色々な考え方がありまして、学んだものを自分の中に留めるのも一つの形ですし、逆に学んだことを外に発信していくのも一つの形だと思います。社会貢献を強制することは出来ないのですが、学んだことを誰かに伝えていくというのも、社会教育や生涯学習のあり方の一つだと思います。

(委員) 強制することは出来ないのですが、講座を受けた人が、その後の活動につながることは良いと思います。

(事務局) 講座の終了後、その後の活動について、サークルの設立や教える場の提供というところを、市がどこまで支援するかということはありません

(委員) 市としては、社会貢献につなげていってもらいたいという気持ちはあるのですが、自分で学習して満足してしまう人も多いのです。市でも積極的な活動が出来るような状況にするのはどうしたら良いかという議論はしていただいたので、そのようなテーマで扱うことは出来ると思います。テーマとしては、おもしろいと思いますので、リストに挙げておくと良いと思います。学んだ

内容をどのように社会に広めるか、役立つようにしていくかは考えるべきことだと思いますので、そのきっかけとして掲載出来ると良いと思います。

(委員) 別なテーマとして、すすくすく泉はどうでしょうか。リストにも挙がっていますが、子育て支援に関しては、施設をつくるだけではなく、市では色々な子育て支援のプログラムを実施していると思うので、施設を説明するだけでなく、そのようなプログラムも紹介したいです。例えば、子育て中の父母のためのモーニングコンサートをジャズ喫茶で行っており、それで子どもを預かるような、他ではやっていないような子育て支援を行っているということ、表に出してもいいかなと思います。

宮本小路公園ですが、東部福祉の会という地域社協で、子どもたちが公園の花植えを定期的に管理する話が持ち上がっています。春頃に取り上げてもらえれば掲載出来る内容が増えて良いのではないかと思います。

(事務局) 子育て支援の様々なソフトをとということですが、現在、子ども・子育て支援の新しい制度が動いていますし、第四次子どもプランの策定も今年度進めています。それらが確定した段階で、掲載出来ればと思います。武蔵野独自の子育て支援ソフトについては、すすくすく泉や境こども園等の特徴的なものを、どこかの時期にアピール出来ればと考えています。

(委員) 次年度の候補として挙げ、宮本小路公園も時期を見て掲載してはいかがでしょうか。

行財政の部門で一つは採用した方が良いと思います。事務局が挙げた4つの候補で長期計画が挙がっていますので、この長期計画については採用した方が良いと思いますがいかがでしょうか。

(事務局) 長期計画は市民参加で策定していく形ですので、企画調整課と調整して関心を持ってもらえるようなタイミングで掲載したいと思います。

(委員) ふるさと歴史館ですが、新聞、市報に大きく載るとは思いますがいかがですか。

(委員) オープンした後に執筆者が取材して掲載するということでしょう。

(委員) オープン後の取材ならば、イベント等で実際に使っていますよというあたりを載せると良いと思います。

(委員) 小学校の3年生が武蔵野市の勉強をする中で行くことになると思いますので、そのような内容はいかがですか。

(事務局) 市報は12月1日号に掲載される予定です。3月15日号の掲載ですと、オープン間もない1月に取材することにはなりません。いずれにしても、オープン後に執筆者が見学して、市民の目線で紹介してもらおうことを考えています。

(委員長) あとはいかがでしょうか。今、事務局案の4つの候補で良いということならばそれに決まります。もう1つ2つ決めておくと良いと思うのですがいかがですか。

(委員) PFIや指定管理者制度という、市がどれぐらい民間の力を活用しているのかという切り口はどうかと思うのですが、その点はいかがでしょうか。

(事務局) 指定管理については、文化事業団や生涯学習振興事業団等の市が設立した

財団が行っています。

(委員) 周辺の市などでは、市が設立した団体は見直しされていますね。

(事務局) 指定管理の難しいところとしては、例えば近隣市の体育館で、民間事業者を指定管理者にしたのですが、そこではスポーツ教室の料金が上がったのです。当然、収益があげられるところがないと運営出来なくなってしまいます。武蔵野市は、市が設立した団体に指定管理し利用料金を低く抑えています、それをどう考えるかになります。今後の財政状況や公共施設をリニューアルしなければいけないことを考えると、無駄を省いていかなければいけないと思いますし、統合も必要かもしれません。

(委員) 武蔵野市プレイスの利用者は7割以上が他市の人なのです。施設の立地上そういう状況があり、他市民のためにサービスしているのではないかという意見も出ています。民間に任せれば、そういうことを言われなくなると思います。

(委員長) 指定管理制度については、「市の財政援助団体」の項目に関係しているので、そこに含めてもいいですが、指定管理制度プラス民間活用としてテーマに挙げておきましょう。ほかにはいかがでしょう。

(委員) 事務局の説明の中で、何テーマか現在検討しているという説明があったのですが、委員会等で検討というと、最終的に報告書がつくられると思うのですが、その報告書は、何時頃報告されるという目安があるのでしょうか。例えば、財政援助出資団体のあり方の検討委員会は報告書が出ていますね。

(事務局) 財政援助出資団体の在り方検討委員会の報告書は出ていまして、今後の方向性は決まったのですが、実際にどのように進めるかはこれから詰めることになります。

(委員) 「医療との連携」や「要援護者対策事業」も検討しているということですが、報告書が公表された後に取り上げていくことになるのですか

(委員) 資料に、いつ報告書が出される予定か記入した方が良いのではないのでしょうか。報告書が公表される時期の情報あれば、何時頃掲載すべきか議論出来ると思います。

(事務局) テーマの表にもう一つ、報告予定時期の説明を加えます。

(委員) 介護保険やコミュニティを考える検討委員会は、市民意見を集めるという段階です。テーマによっては市民意見を集めるという段階で扱っても良いのかなという気もします。

(委員) 3月15日号ですが、来年の3月11日で震災から4年になります。避難所になる学校に災害用トイレが整備されたりしているのですが、避難所になる学校にどういう設備があるか知らなかったのです。避難所にどのようなものが装備されているかという情報を載せてお知らせしてもいいのかなと思います。

(委員) 3.11の前の2月号に載せてもいいかもしれないね。

(事務局) 防災課が特集を組み、それと重ならなければ大丈夫だと思います。

(委員) 防災を今回採用するものに入れるとして、合計で5個になりますね。例え

ば産業振興は、次回以降でも良いと思います。もし防災を取り上げるならばそれ、3.11の前の方が良いと思いますので、採用する順位を上げましょう。上手く取材ができない場合は、産業振興を入れるということではいかがでしょうか。

(事務局) 避難所について、災害用トイレや装備を絡めながら取材して、掲載することは出来ると思います。

(委員) 避難というのは、みんなで一緒にやっていかなければならないのです。避難は、逃げるだけでなく自分たちも動くことが必要です。私達もそれを訓練しなければいけないと思うのですが、どのようにしたら良いかなかなか難しいところです。

(事務局) 再度3.11のようなことが起こったときに、帰宅困難者をどうするか。3.11は、何とかやりましたが、今度は民間にも協力してもらう必要があるでしょう。

(委員) 要援護者というテーマもありましたが、健常者の避難だけを考えてはいけないわけで、身体的、精神的な障害を持っている人や色々な人がいて、そのような人を避難させなければならぬと感じているので、そういうこともアピール出来ればと思います。

(委員長) 防災について、取材内容は事務局に任せて良いでしょうか。テーマについて色々な意見が出るのはいいと思いますので、自由に意見を出してもらい、それをまとめていくことで進めていきたいと思っています。

(事務局) 現在の4テーマにプラス防災関係で良いでしょうか。

(委員長) それでは、この5テーマから選定して取り上げるということにいたします。また、選定したテーマが上手く回らないときは、事務局から連絡があるかもしれません、その際はご協力をお願いします。

(事務局) 結構です。ありがとうございます。

(委員) 防災の件で市民に直接は関係ないのですが、帰宅困難者への対応というのは、例えば市の施設か何かにより、対応をとっているのでしょうか

(事務局) とっています。

(委員) 市民でない市外からの通勤通学者に対しても、帰宅困難者への対応として、情報を提供していくべきではないでしょうか。3.11の時、家族が帰れなくなりましたが、どこに行けば良いか、情報が無くてわからなかったです。

(事務局) 若い人ならば、SNSやツイッター等、色々ありますね。次回起きたら、すぐには帰らない方が良いというか、1日か2日はとどまっていた方が良いとなるかもしれません。市では、民間の力も借りて、情報提供等の帰宅困難者対策を行っています。

(委員長) それでは、CIMコラムについては、事務局で本日の意見を取りまとめて、掲載をお願いします。

(5) その他

(委員長) その他について、事務局から何かありますか。

- (事務局) 次回委員会の日程及び会場について、調整したいと思います。  
[次回委員会の日程及び会場について調整を行った。]
- (委員長) 本日の会議はこれで終了とします。

以上